

ラテン語の勉強と留学のための準備を新たな目標に

首都圏の私立大学に入学した女子学生

将来は人と積極的にコミュニケーションが取れる強みを生かし、国籍を問わず、様々な人々と関われる職業に就きたいと考えている。この目標を達成するために、大きく分けて2つの活動に力を入れている。

一つ目は弓道部での活動である。サークル活動や部活動に入ること、他学年や他学部他学科の学生とも交流する機会を得ることができ、コミュニケーション能力向上の手助けになると考える。また、日本特有のスポーツを体験することで、将来外国人の方と接する際に、弓道を通して日本文化を紹介したい。

二つ目はチューター制度での活動である。チューター制度とは、チューティーである私たち1年生が、チューターである上級生と共に学習計画の作成や英語学習を行うにあたっての問題解決をはじめとした活動を通し、英語学習のモチベーションの向上を図る制度である。私は現在、このチューター制度のTOEICコースに参加している。この活動から、交換留学制度を利用するために基準となるTOEICのスコアを上げるのはもちろんのこと、同じように目標を持つチューティーやチューターと学習することで良い刺激を受けたいと考えている。

今年度はさらに二つの目標を達成したい。

一つ目は夏休み集中講座である「トライラテン語」を受講することである。ラテン語は、私が高校生の時から興味を持っていた哲学との繋がりが深い。さらに、ラテン語は英語の原点であるとも言われている。「トライラテン語」を受けることで、興味を持つ分野を深めるきっかけにしたい。

二つ目は留学についての情報を集めることである。中学生の頃に、オーストラリアへホームステイに行った経験から、オーストラリア特有の文化や日本にはない多様性に触れ、大きな衝撃を受けた。そのため入学後も、大学の交換留学制度を利用してオーストラリアへ留学計画を立てている。今年度中に留学先の大学について調べるだけでなく、コロナ禍での留学制度の変更点の確認や留学制度を利用した先輩やアドバイザーからも積極的に意見を聞く等の行動をしていきたい。

目の前の自分が出来ることからコツコツやっという

首都圏の私立大学看護学部に入学生

新生活は、初めての一人暮らしということもあり、自分1人ではできないことがたくさんありますが、周りの手を借りながら一人暮らしに慣れるように頑張っています。環境が大きく変わって不安な気持ちもあり、地元に戻りたいと思ったこともありましたが、自分で選んだ道なので最後までしっかり頑張りたいと思っています。自炊なども初めて

やるので少しでも慣れるように学校がある日はお弁当を作って持っていったり、朝と夜も自分で作るようにしたりして、少しでも自炊ができるようにしています。

学校生活はいろんな県から人が来て、いろんな友達もできて楽しいです。勉強などわからないことは友達に聞き、分からないままでは終わらせずにしっかり理解するようにしています。授業は、高校の時と比べ 90 分と長く、最初は慣れるので精一杯でしたが、今は少しずつ慣れ、集中して取り組んでいます。また、課題などもあり、ついて行くことに必死ですが、自分なりに予習復習をして頑張っています。6 月からは初めての實習もあるので、不安なこともあります、めげずに頑張りたいです。そして、看護師への道を着実に歩んで行きたいと思います。

大学へは自分で行くことを決意してきたので高校生の時以上に勉強に励んでいきたいと思っています。せっかくの大学での 4 年間なので勉強以外にも、サークルでの活動や年間行事などでも全て楽しんでいきたいです。まだまだ分からないことがたくさんありますが、目の前の自分が出来ることからコツコツやっていこうと思います。たくさんの人と仲良くなりコミュニケーションを取り、交友関係を広げたいです。

将来役に立ちそうな「社会福祉原論」に興味津々

関西の私立短大の社会福祉学科に入学した男子学生

入学してから 3 週間ほどが経ちました。1 日 1 日を大切に充実した生活を送っています。将来、社会福祉士の資格を取得するため、授業の履修登録では社会福祉士国家受験基礎資格に必要な科目を選択しました。すでに選択した授業を受けていますが、一つ一つの授業がとても興味深く、楽しく学ぶことができています。その中で私が一番興味深いと思っているのは「社会福祉原論」という授業です。この授業はただ社会福祉のことを学べるだけではなく、どのような経緯で社会福祉がつけられたのかなど、昔の社会福祉のことを学ぶことができ、私にとってとても大切な授業になります。社会福祉を根本から学ぶことにより、将来、社会福祉関係の職業に就いたとき、見る視点が広がってくるのではないかと考えています。「社会福祉原論」の授業も含め、1 つ 1 つの授業を大切にこれからの学校生活を楽しんで送っていきたいと思います。

私生活では、施設での多人数の生活とは異なり、一人暮らしとなりました。様々な生活の変化があり、最初は慣れませんでした、時間が経つにつれて慣れ、家のことを自分でできるようになってきました。一人暮らしになる前に一番不安だったのは自炊でした。施設にいるとき、ご飯づくりを手伝っていたのですが、1 人で作るとなるととても不安でした。しかし、学園生活の経験を活かし、夜ご飯はいちから食材を切って作っています。自分で献立を調べて、毎日レパートリーを増やしています。学校やアルバイトがあり、作るのは大変ですが、これからはがんばって作り、生活リズムが崩れることがないように生活にしたいと思っています。

まずはコミュニケーション能力を身につけたい

九州の私立短期大学幼児教育学科に入学した女子学生

学校生活が始まって約1か月が経ちました。最近疲労がたまり、少しきつくなってきました。高校とは全く違って90分の授業、全ての責任は自分、連絡は全てWeb、時々見ることを忘れて焦るなど、まだバタバタしています。また、授業では疲労で眠気がし、難しく諦めようかなと思ったこともありました。ですが、自分の決めた道、たくさんの方からの支えのおかげで、この学校に進学しているのだと気づき、毎日一生懸命取り組んでいます。

幼児教育学科の1年生が101人いるので、まだ全員の名前を覚えることはできません。私はコミュニケーションが苦手なので、友達ができるかすごく不安でした。しかし、子供の前に立って指導する人がコミュニケーションとるのが苦手なのはだろうと思ひ、勇気を出して話しかけてみたりしました。すると、趣味などが合ってすぐに仲良くなることができ、毎日楽しく学校生活を送っています。また、チューターの先生がついており、色々なサポートをしていただいています。

寮に住んでいて友達と2人部屋です。毎日楽しく、仲良く過ごしています。少し前までは、友達とお出かけしていましたが、コロナの影響により外出ができないので、寮内で思い出をたくさん作って楽しい寮生活を送りたいです。

目標として、まずはコミュニケーション能力を身につけたいです。また、ピアノでは、鍵盤を見ずに弾けるようになり、子供の表情をしっかり見て、小さな変化に気づける保育士を目指し、日々努力します。

二つの目標 皆勤と資格取得

北関東の建築専門学校に入学した男子学生

4月9日に入学式がありました。対面での参加はできず、オンラインでの参加となりました。非常に残念ですが、去年入学された先輩方は入学式自体も行っていないと聞き、限られた中で最善の選択をとっていただいたのだと感じました。先週から授業が始まり、新天地で友人ができると意気揚々としていたのですが、新型コロナウイルスの影響により昼食の時間が黙食となってしまったり、自己紹介の時間がなかったりして想像していた学生生活とはかけ離れた生活に戸惑っているところです。

ですが、私が興味のある建築の授業が始まり、建築の仕事に就く自分の姿を想像できるようになってきました。これから慣れてくると同時に課題なども増えてくるとは思いますが、しっかりこなしていきたいです。これから長く学校で生活するにあたって私なりに二つ目標を掲げました。ひとつは皆勤することです。月曜日から金曜日まで授業が詰まっており、実技科目が多いため、1日でも休んでしまうとかなりの遅れを

取ってしまいます。課題に余裕を持って取り組むためにも休むことなく授業に出席したいと考えています。二つ目は資格をたくさん取得することです。資格の取得が単位認定の条件になっている教科もありますし、何より卒業後の進路に大きくかわることなので、必修の資格はもちろん余裕があったら任意の資格にも挑戦していきたいです。

知識やスキルを身に付けて介護を必要とする方々を支援したい

首都圏の福祉専門学校に入学した女子学生

指定校推薦で合格できたのは、祖父の介護をしたいという強い意志があったからだと思います。祖父は、私が小学校2年生に上がる前にも膜下出血で倒れ、その後歩くことが難しくなり、私が小学校6年生の時まで介護をし続けました。その頃、私は幼く、介護の知識やスキルがなく、祖父の腕を引っ張り、動いてよといい、祖父に嫌な思いをさせてしまいました。今思うと、当時の自分の行動に後悔をしています。その後悔を今日までし続け、今になっても家族で一番大好きな祖父に対して介護をしたいと思います。

専門学校では、介護業界で必要とされる知識やスキルを身に付けて介護を必要とする多くの方々を支援したいです。また、真面目に授業に取り組み、積極的に発言するほか、授業以外にも勉強時間を確保して課題やレポートの提出期日を守り、介護福祉士の国家資格を取りたいです。また、社会福祉士にもなりたいという夢があるので、専門学校を卒業して大学編入を目指します。

学ぶ時間は1年間 自分自身で自分の進むべき道を決めたい

九州の調理・製菓専門学校に入学した男子学生

4月8日の入学式には、これからの新しい学校生活や、寮での一人暮らしに期待をふくらませ臨みました。期待が募る反面、これから1人でやっていけるのかという不安も押し寄せてきました。当然、周りには知り合いもおらず、入学してからの2週間は学校でも、寮でも1人で過ごすことが多かったです。このままでは勉強はもちろんのことで、学校生活がうまくいかなかったりして、不便な点が生まれてくるので、なるべく早めにクラスのみんなど打ち解けることができるように努力していきます。

クラスメイト以外では、サッカー部の先輩方と仲良くさせていただいています。入学してからサッカーに誘っていただいて、何度もサッカーの練習に参加することで、先輩方をはじめ、チームメイトと打ち解けることが出来ました。そのような中、コロナのため、ゴールデンウィーク後の部活動も中止となり、様々な方々と関わるタイミングが少なくなってしまったのでとても残念でなりません。

授業は、なれない90分授業に苦戦しています。高校での50分授業の時とは違い、まだ最後まで集中力が続かないことが多いです。調理実習では、自分の係を、責任を持っ

て行うように努力しています。まだ自分のことで精一杯で、周りをサポートするどころか、サポートされることの方が多いです。調理の現場では、サポートし合うことが大切であると早い段階で学ぶことができたので、なるべく早く調理法や、切り方などを覚え頼られるようになりたいと思います。

入学して間もないですが、学ぶ時間は1年間です。本当にあっという間だと思います。直ぐに就職活動も始まります。自分の進路実現のためにも、たくさんのことを学びながら、自分自身で自分の進むべき道を決めて行きたいと思います。コロナウイルスが広まり、まずは健康面に気をつけたいと思います。学校でも取り組んでいる手洗い、検温の徹底。不要不急の外出を控え、学校でも外でも、そして寮内でもコロナ対策に取り組みます。そして、自分の夢実現に向けて、多くのことを学んでいきたいと思います。

コロナで1日しか通学出来ず 1日も早く収束を

東京都内の栄養専門学校に入学した女子学生

入学する前は、栄養士科は2クラスだけだと思い込んでいましたが、実際には3クラスもあり、びっくりしました。4月7日の入学式当日は、午前中に特待生試験、午後に入學式と、なかなかハードな1日でした。特待生試験は、国語（現代文）と理科総合（科学基礎、生物基礎）の試験を受けました。とても緊張しましたが、この試験で成績が上位だったら、入学金返金等の制度があったので、前もって勉強して取り組みました。ですが、思った以上に漢字が書けなくて、とても悔しかったです。午後からは公会堂に移動して、入学式が行われました。校長先生をはじめ、たくさんの先生方や来賓の方々から祝福の言葉をいただき、また学校生活を頑張ろうと心に誓いました。

翌日からさっそく授業が始まりました。ですが、新型コロナウイルスが流行していることもあり、分散登校として1クラスを2つに分けて、1週間交代で学校に行くことになりました。授業は、1限から4限まで全て入っていて、1限が90分授業になったため、初日でもう疲れてしまいました。2日目には、人見知りを克服したく、自分から話しかけて友達を作ることもしました。

12日の週から、学年に濃厚接触者の方が出てしまい、学校が休校になってしまいました。ですが、実験実習の時だけ学校に行って授業をしています。他の授業は授業プリントが配布されて、課題を自力でこなしています。まだちゃんと学校には1日しか行けていないので、学校で授業を受けられる日がきたら改めて報告させてください。1日も早くコロナが収束し、通常の学校生活が送れるようになってほしいと思っています。